

# 「東京都立高井戸公園」 事業計画書

公益財団法人東京都公園協会

# 目 次

<b>I 支出計画</b>	1
<b>II 事業計画</b>	
<b>1 管理運営に関する基本的事項</b>	2
(1) 公の施設の管理に対する基本的考え方	2
(2) 都立公園の管理における基本理念	4
<b>2 人員配置計画等</b>	6
(1) 人員配置計画	6
(2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担	1 1
(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組	1 3
<b>3 運営管理計画</b>	1 5
(1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組	1 5
(2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法	1 6
(3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組	1 8
(4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案	2 0
(5) オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組	2 1
<b>4 施設維持管理計画</b>	2 2
(1) 適切な維持管理を行うための取組	2 2
(2) 事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応	2 4
(3) 要望やオリンピック・パラリンピックに向けた施設補修、施設改良への取組	2 6
(4) 維持管理業務の進め方	2 7

## I 支出計画

単位：千円

年 度	提案額
令和2年度	16,976
令和3年度	20,371
令和4年度	20,371
計	57,718

## II 事業計画

### 1 管理運営に関する基本的事項

#### (1) 公の施設の管理に対する基本的考え方

都立公園は、都民等の福祉の増進及び生活文化の向上などを図る目的で設けられた「公の施設」です。行政の代行者としての指定管理者は、都市公園法及び東京都立公園条例等関係法令を遵守し、公平・公正な立場で、パークマネジメントを実施していくことが求められます。

公益財団法人東京都公園協会（以下「公園協会」という。）は、東京都の公園緑地行政の発展を支援し貢献する公的な団体として、70年余の緑と水に関わる活動により、知識・技術・技能を蓄積するとともに、行政機関・学識経験者・地域団体等との強い絆を育んでまいりました。

その実績とスキル・ノウハウ等のストックを土台に、次の3つの視点を重視したパークマネジメントを推進していくことで、「公の施設」の指定管理者として、都立公園の魅力と質の向上を図り、「世界一の都市・東京」の実現に寄与してまいります。

#### 【視点1】

#### 都立公園の基本的機能・役割を守り育て、未来につなげる

##### (1) 公園の持続性を重視した維持管理

- すべての都立公園は、水と緑のネットワークの拠点を形成する環境保全機能や防災拠点機能はもとより、良好な都市景観を形成するという「東京都の公園」としての広域的な機能を担うとともに、その立地する地域に合わせた設置・計画・設計の意図を持ち、常にその役割を的確に果たすことが求められています。
- 公園管理の基本を常に重視する取組姿勢を堅持し、すべての公園において、すべての利用者の視線を尊重しつつ、公園の重要な景観構成要素である樹木や植物等について、長期的視点に立った適切な維持管理と、弛みのない維持管理水準の向上に努めることにより、緑豊かで風格のある首都東京の持続性を持った景観形成に寄与し、都民からの信託に応えてまいります。

##### (2) 公平・公正で平等な利用の機会を確保した管理運営

- 利用者に対して常に平等な機会を確保するとともに、個人情報管理の徹底と事務の適正化に努め、公平・公正な管理運営にあたります。
- 外国人や高齢者、障がい者等を含め、誰もがいつでも安全・快適に利用できるよう、バリアフリー、ユニバーサルデザインに十分配慮した施設管理及び利用者サービスの提供に努めます。

##### (3) 安全・安心に利用できる公園の管理運営

- 適切な巡回・安全点検等により、樹木や遊具など公園施設に係る事故を未然に防止するとともに、防犯の観点からの環境整備に努め、徹底して安全・安心な公園づくりを行います。
- 自然災害等のリスクに対しては、「ハザードマップ」を作成し、被害の未然防止に努めるとともに、災害が発生した場合は「災害対策マニュアル」に基づき迅速、的確に対処します。

##### (4) 効率的・効果的で質の高い管理運営の実現

- 公園利用者の声、苦情・要望等について集約、整理、蓄積、分析し、共有化することで的確にフィードバックさせるとともに、新技術等の導入や開発により管理技術の高度化を図るなど、PDCAサイクルに基づく業務改善の継続により、進化する質の高い管理運営を実現します。
- 樹木管理等、グループ内の共同維持管理作業により、スケールメリットを生かした効率的で効果的な維持管理を進めます。

##### (5) 知識・技術・技能を未来に継承するための仕組みづくり

- 都立公園をレガシーとして未来に着実に引き継いでいくために必須である、次世代の若手技術者・技能者を育成する仕組みづくりとして、優れた技能者からノウハウを受け継ぐ取組を行います。平成28年度から開始した、技術職員や公園の維持管理に携わる技能職員の採用・キャリアアップの体制を更に強化し、世界に誇れる技術・技能集団を育てます。
- 私たちの公園の管理運営の特徴は、その公園を熟知している地域の造園緑化業界と幅広い協力・連携関係を築いていることです。このため、災害などの緊急事態にあたっては、迅速な対応が可能です。今後とも、手を携えて緑化技術を磨き、育てるとともに、地域の活性化にも寄与していくことで都立公園の魅力を上向きさせ、東京のみどりの質を高めてまいります。

## 【視点2】

## 地域の核となる都立公園のパークマネジメントを推進する

### (1) 地域連携による公園の魅力向上と地域の活性化

- 新たな時代の変化や人々のニーズを的確に捉え、健康増進・スポーツライフの創造、子どもの育成など、多様で魅力ある利活用プログラムの提供を、企業・団体、学校など様々な主体と連携して展開することで、公園を中心とした地域の魅力向上と活性化に引き続き貢献してまいります。

### (2) 更なる地域連携等の推進による防災対応力の強化

- 都立公園が避難場所としての防災機能を確実に発揮できるよう、公園の防災施設を活用して地域住民等への防災意識の普及啓発を図るとともに、消防署や地元自治会、学校等と連携して地域の防災対応力の強化を目指します。
- 私たちは、発災時に人々の命を守るため、日頃から「震災対応マニュアル」に基づく職員の参集訓練や実践的防災訓練などを行い、避難場所や広域防災拠点としての機能確保を盤石なものとしていきます。
- 防災に関するホームページやリーフレットにより、防災意識の普及啓発に努めます。

## 【視点3】

## 社会環境の変化や多様化するニーズに的確に応える

### (1) 生物多様性保全など環境に配慮した管理運営の実施

- 私たちは、評議員や理事などにわが国を代表する造園・植物の専門家を擁し、また、緑と水の市民カリッジや植物多様性センター等の活動を通じて、多くの学識経験者との連携を実現しています。
- これらをふまえた専門的知見をもとに、公園協会独自に策定した「生物多様性保全戦略」に基づき、公園で環境保全活動に関わる人々と連携し、都市に残された豊かな自然生態系を次世代に継承するため生物多様性に配慮した管理運営を行います。
- 公園で発生した枝葉のチップ化や廃棄物等のリサイクル等、環境と省エネルギーに配慮した公園の管理運営を行い、地球環境保全への社会的使命を果たしてまいります。

### (2) 「世界一の都市・東京」にふさわしい都市の風格と魅力を向上させる管理運営

- 2020 東京オリンピック・パラリンピックを契機として、都立公園が率先して国内外の人々をお迎えし、安全・快適で美しい公園の環境に満足していただけるよう、おもてなしの質の向上に取り組みます。
- 樹木の適切な維持管理により風格のある都市景観を形成し、公園毎に地域のランドマークともなる「パークビュースポット」の創出等に向けた環境整備を進めるとともに、地域に賑わいをもたらす魅力ある様々なプログラム等を通じ「世界一の都市・東京」にふさわしい公園の魅力づくりに組織を挙げて取り組みます。
- これまでの都立公園等の管理運営の経験のなかで培ってきた知識・技術・技能を踏まえ、都立公園・庭園等の文化的・歴史的価値をさらに高め・継承していく管理運営を実施するとともに、日本の文化を体験する貴重な空間として、イベント等を実施して公園の魅力を最大限に引き出し、世界から訪れる人々にも効果的に伝える創意工夫を進めていきます。
- 個性豊かな公園の歴史・文化・自然資源等を大切に、都民や専門家、企業・団体等と手を携えて、首都東京の公園緑地の魅力を高め、世界に公園文化を発信する管理運営を推進します。



伝統技能見学会「雪吊り」(浜離宮恩賜庭園)

## (2) 都立公園の管理における基本理念

### 1. 公園管理運営における基本理念

高井戸公園は、武蔵野台地の住宅地の中に位置し、また神田川や玉川上水等の帯状の緑に挟まれた、水と緑のネットワークを構築する上での重要な役割を期待されています。

管理運営に当たっては、『パークマネジメントマスタープラン』及び『公園別マネジメントプラン』で示された、「防災機能の強化・充実」、「水と緑の骨格軸形成」、「スポーツによる健康づくり」等の目標の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

そのため、私たちは高井戸公園においても、都市部の公園・北部グループと共通の基本理念及び3つの取組方針を掲げ、公園の存在価値を高めてまいります。貴重な自然や歴史等資源の原石を掘り起こし、地域と共にその魅力を磨き上げていくことで、公園の利用価値が更に高まり、そこに暮らす人々や地域そのものがいきいきと輝く公園づくりを目指して取り組みます。

### 都市部の公園・北部グループ 基本理念

## 水とみどりの宝石箱 ～地域と共に磨き、輝く

#### 取組方針 1

#### 【築く】公園の持つ機能・役割を守り、地域の安全・安心を高める

- ①公園の防災機能を強化するとともに地域の自助・共助力の向上により防災対応力を高めます。
- ②公園利用の適正化の推進や施設の安全管理の徹底により、安全・安心、快適性を更に高めます。
- ③長期的な視点に立ち樹木の健全育成を図る等、公園の景観形成の重要な要素となるみどりの質を更に高めていきます。

#### 取組方針 2

#### 【磨く】都立公園としての魅力を更に高め、次世代に継承する

- ①地域で長年活動を続けている様々な主体と連携し、生物多様性保全に配慮し、多様な生物が生息・生育していける環境を、地域とともに創り上げます。
- ②歴史や文化、自然等の豊富な地域資源を、「水とみどりのフィールドミュージアム」として掘り起こし、その魅力と価値を多彩なツールで積極的に発信するとともに、レガシーを未来に継承します。

#### 取組方針 3

#### 【輝く】多様なニーズに的確に対応し、公園を核に地域の活力を高める

- ①PDCA サイクルに基づき、幅広い利用者のニーズ等を取り入れながら、常に進化・改善を続けることにより、素晴らしい公園環境をつくり上げます。
- ②公園の魅力を高める協働コーディネーターとして、多様な主体と連携・協力し、公園を核として地域の活性化に寄与します。
- ③オリンピック・パラリンピックを契機としてスポーツ機運を高め、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康増進や交流を推進します。



## 2. ノウハウを活かした業務展開

私たちは、都市部の公園・北部グループの指定管理者として管理運営に携わり、公園管理に関する専門知識やノウハウ等を活かし、グループ公園それぞれの個性を活かした管理運営を行うとともに、地域との連携を強固なものとする事でその存在価値を高めてきました。

例えば、高井戸公園と同じ杉並区にある善福寺公園では、東京都や民間企業、街づくり団体等と連携し、野鳥などへの接し方やマナー向上を呼び掛けるエサやり防止キャンペーンを実施し、利用者等への意識啓発を図り、公園の環境改善を進めました。また、杉並区や警察、消防とは、防災訓練等を通じて地域のつながりを深めており、発災時に備えた連携を強化しています。

高井戸公園に対する多くの人々の期待に応えるため、これまでの公園管理の中で培ってきた経験とノウハウを最大限に活かし、管理運営を進めてまいります。

### (1) 公園の持つ機能・役割を守り、地域の安全・安心を高める

- 地元消防・自治体等と連携して重ねてきた防災訓練の実績と盤石な参集・無線通信等の体制により、公園と地域の防災対応力を高めます。
- 災害対策本部を中心とした体制と地元造園業者等との緊密な連携による緊急対応の実績により、24時間365日の安全確保を堅守します。
- 警察OB等からなる特別適正化チームが、都や関係機関との連携によって実現した戸山のホームレスゼロの実績とノウハウを活かし、安全・安心な公園の環境づくりを進めます。
- 作業内容に応じて臨機応変に対応する近隣公園共同作業等により、維持管理の質を高めます。
- 樹木の日常点検の他、都の認定を受けた樹木点検員による樹木定期点検と協会樹木医による詳細な樹木診断で、公園の安全性を更に高めます。
- 善福寺の野鳥餌やり防止や戸山のクリーンキャンペーンの実績を活かし、テーマに応じて多様な主体と手を携え、快適性向上の輪を広げていきます。



巡回業務による安全確保



樹木の定期点検

### (2) 都立公園としての魅力をさらに高め、次世代に継承する

- 都民協働による赤塚のニリンソウ保全の実績等を発展させ、公園協会の「生物多様性保全戦略」に基づき長期的視点で貴重な自然を継承します。
- 自然とのふれあいができる環境の整備と普及啓発を進めます。
- 多彩な地域連携や都民協働のノウハウを活かして地域の資源を発掘し、「水とみどりのフィールドミュージアム」として、広く発信します。
- アクセス数約4000万件を誇る公園協会ホームページやSNS発信、マスコミ等と連携した広報の実績を活かし、広域利用を促進します。



固有種の植物を保全

### (3) 多様なニーズに的確に対応し、公園を核に地域の活力を高める

- これまで、地元自治体や町会と連携した幅広い年齢層が参加するアート展示や自然観察イベントの開催実績を活かし、高井戸公園を地域の多世代交流の場として活用していきます。
- スポーツイベントを開催してきた実績を活かしながら、幅広い年齢層を対象とした健康づくりやスポーツ参加機運を高めていきます。
- 子ども達のがのびのびと活動できる環境をつくるため、杉並区・近隣学校等との関係づくりを進めます。
- 利用者等からの意見・要望等を反映させた公園管理、ユニバーサルデザイン充実への取組等を推進し、誰もが安心して憩える空間を提供します。



キャッチボール教室

2 人員配置計画等  
 (1) 人員配置計画  
 ア 総括表

(単位：人)

管理組織(公園名等)	雇用形態			備考
	常勤職員	非常勤職員	その他(具体的に)	
本社等	4	0		
北部グループ統括部署	5	0		
戸山公園	6	3	昼間警備委託1名、夜間警備委託2名(夏季)	夜間警備はグループ内を巡回
善福寺公園	2	3	夜間警備委託2名(夏季)	夜間警備はグループ内を巡回
高井戸公園	2	1	夜間警備委託2名(夏季)	夜間警備はグループ内を巡回
浮間公園	2	4	昼間警備委託1名、夜間警備委託2名(夏季)	夜間警備はグループ内を巡回
赤塚公園	3	5	昼間警備委託1名、夜間警備委託2名(夏季)	夜間警備はグループ内を巡回
石神井公園	3	8	昼間警備委託1名、夜間警備委託2名(夏季)	夜間警備はグループ内を巡回
大泉中央公園	2	4	昼間警備委託1名、夜間警備委託2名(夏季)	夜間警備はグループ内を巡回
計	29	28		

※各管理組織の雇用形態の内訳を記入してください。常勤とは週40時間程度勤務し貴団体が複数年にわたり雇用する職員とします。  
 非常勤職員は、パート、アルバイトなど臨時に契約する職員とします。

※「本社等」の欄には、貴団体の本社等統括組織に配置する公園管理に係る人員を記入してください。



イ 公園別内訳 【北部グループ統括部署】

役割	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
グループ統括所長	7公園の統括責任者、渉外総合調整、東京都との連絡調整、全体予算管理等	公園等の管理経験7年、公園管理運営士、衛生管理者、防火・防災管理者、上級救命講習修了	○				40	
管理運営係長	グループの管理運営の責任者、事業計画進行管理、予算管理等	公園等の管理経験4年、衛生管理者、上級救命講習修了	○				40	
維持係長	グループの維持管理の責任者、維持管理工事の設計・監督、全公園の直営維持管理作業の指導・監督等	公園等の管理経験22年	○				40	
管理運営職員	グループの管理運営の取りまとめ、事業計画進行管理、予算管理、イベント担当等	公園等の管理経験3年以上	○				40	
維持職員	グループの維持管理の取りまとめ、事業計画進行管理、予算管理等	公園等の管理経験3年以上	○				40	

統括部署配置人員

※1 枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定の上記入してください。  
 ※雇用形態は該当する欄に○を付けてください。その他の場合は具体的な雇用形態を記入してください。  
 ※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

公園別内訳 【高井戸公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理 所 配 置 人 員	サービスセンター長	当該公園の責任者（出納など）、広報・窓口対応、渉外担当、ボランティア対応、利用者補助 等	公園等の管理経験 5 年以上、公園管理運営士、上級救命講習修了、普通自動車第 1 種運転免許	○		-		40	
	管理運営スタッフ 1	管理運営スタッフリーダー、ホームページ管理、お客様サービス担当、アメニティ巡回、利用者補助 等	公園等の管理経験 1 年以上、上級救命講習修了、普通自動車第 1 種運転免許	○		-		40	
	管理運営スタッフ 2	お客様サービス担当、事務担当、アメニティ巡回、軽易な維持管理 等	公園管理業務もしくは類似業務経験 1 年以上		○		-		27
業 務 委 託	夜間警備員（夏季 2 名）	夜間の園内巡回、利用者指導等		-		○			

- ※1 枚 1 公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。
- ※職員一人ごとに記入してください。
- ※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。
- ※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。
- ※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用形態を記入してください。
- ※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。
- ※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準 1 か月分：様式任意）

ウ 職員ローテーション表【北部グループ統括部署】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
日数	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
グループ統括所長	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
管理運営係長	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
維持係長	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
管理運営職員	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
維持職員	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
総出勤数	115	5	5	0	0	5	5	5	5	5	0	0	5	5	5	5	5	0	0	5	5	5	5	5	0	0	5	5	5	5	
予定																															

※ 出 : 出勤者

※ 出 : 当日の責任者

職員ローテーション表【高井戸公園】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
日数	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
サービスセンター長	出張	出張			出張			出張		出張				出張		出張			出張					出張									
管理運営スタッフ1	出張																																
常勤職員出勤人数	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	2	2	2			
管理運営スタッフ2		出張			出張		出張		出張																								
非常勤職員出勤人数	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0			
総出勤数	2	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2			
警備																																	
予定	月例報告(PM出張)					GS研修(一日出張)				パークマネジメント研修(一日出張)	職場研修・所内打合せ			遊具の重点安全点検		センター長研修(PM研修)	樹木点検				張都民協働研修(PM出張)	夜間巡回点検		ブロック情報連絡会議(PM出張)								維持管理研修(一日)	維持管理研修(一日)

※ 出 : 出勤者  
 ※ 出 : 当日の責任者

※平日は職員が1名で勤務する日が発生する。1名勤務の日は12時から13時まで窓口不在とし、電話問い合わせについては13時以降に架電する。

## (2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担

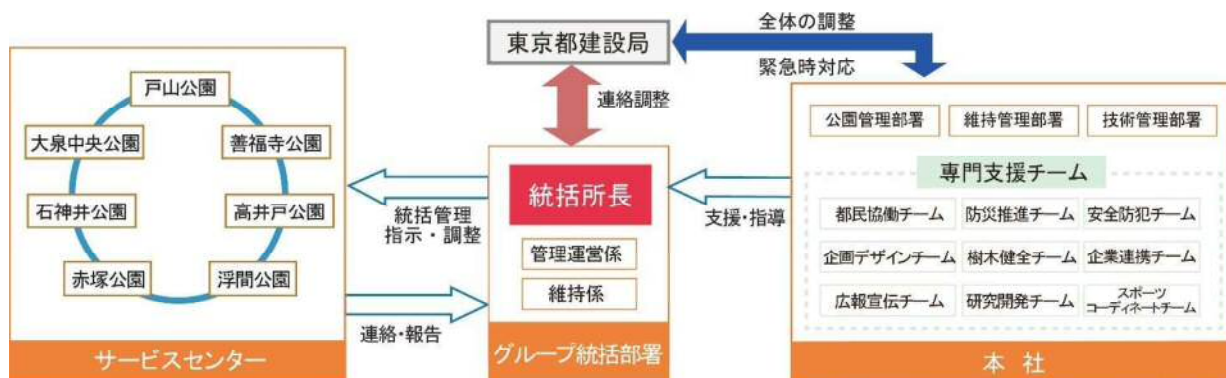
### 1. 具体的な考え方

#### (1) 基本的な考え方

私たちは、都立公園の管理水準を高めるとともに円滑な運営を図るため、これまでも東京都をはじめ、地元自治体、警察署、消防署などと緊密な連携を図り、管理運営に取り組んでまいりました。

高井戸公園においても、安定的で確実な管理運営を行い、安全・安心で快適な公園環境を提供するため、明確な指揮命令系統のもとで、連絡・調整機能を構築します。

#### (2) 確実な指揮命令系統に基づく体制の確立



<指揮命令系統機能図>

- (1) 高井戸公園にサービスセンター長（以下「SC長」という。）を置き、日常の管理及び窓口業務を確実に実施します。
- (2) 高井戸公園を含む、北部グループ7公園のSCを統括する「グループ統括部署」を設け、統括管理を実施し、管理運営の一元化を図ります。
- (3) グループ統括部署には、統括所長を1名配置し、グループの事業運営に係る責任者として、東京都との連絡・調整窓口となるほか、各公園のSCを統括します。グループ統括部署には、管理運営部門及び維持管理部門を司る「係」を各々設け、統括所長の指示のもと各公園の円滑な運営及び維持管理の質の向上を図ります。
- (4) 本社公園事業部内に管理運営部門を統括する「公園管理部署」、維持管理部門を統括する「維持管理部署」を設け、管理運営の基本的方針等に係る都との連絡調整、管理水準の確認、事業の進行管理等を行います。
- (5) 管理技術の改善・開発研究や各公園の樹木診断等専門的技術支援を要するものについては、本社「技術管理部署」が支援・指導します。
- (6) 本社に「都民協働」、「防災推進」、「企画・デザイン」、「樹木健全」、「安全防犯」、「研究開発」、「広報宣伝」、「企業連携」、「スポーツコーディネート」など、専門の支援チームを設け、管理水準の向上及び質の高いサービスを提供します。
- (7) 大規模な自然災害や震災発生時には、被害内容等に応じてグループ統括部署と本社公園事業部が密接に連絡をとり、東京都の担当部署との連絡・調整等を迅速・的確に行います。

### 2. 管理所と統括組織の役割分担・都との連携について

#### ■ 平常時の対応

- (1) 24時間365日、常に本社と現場が密接な連絡体制のもとスピード感をもって対応します。
- (2) 平常時の夜間や年末年始などのSC閉所時は、警備会社や特約店による巡回と職員の緊急連絡及び参集等、緊急時に備えた体制を整えます。  
※特約店：複数の造園、電気、設備会社等と年間契約を結び、緊急時等に迅速に対応する制度
- (3) SCと統括組織の連携
  - ①統括所長は、日常の連絡・調整のほかに、毎月1回SC長を招集した情報連絡会議を実施し、グループ内での情報共有や本社からの伝達事項等、一元的管理運営体制を確立します。

② 本社公園事業部は、毎月1回、総括所長を招集し、事業の進捗状況、苦情・要望内容などのほか、グループの運営状況を把握する「事業進行管理会議」を開催し、円滑・的確な運営に努めてまいります。

### ■ 夜間・早朝の対応

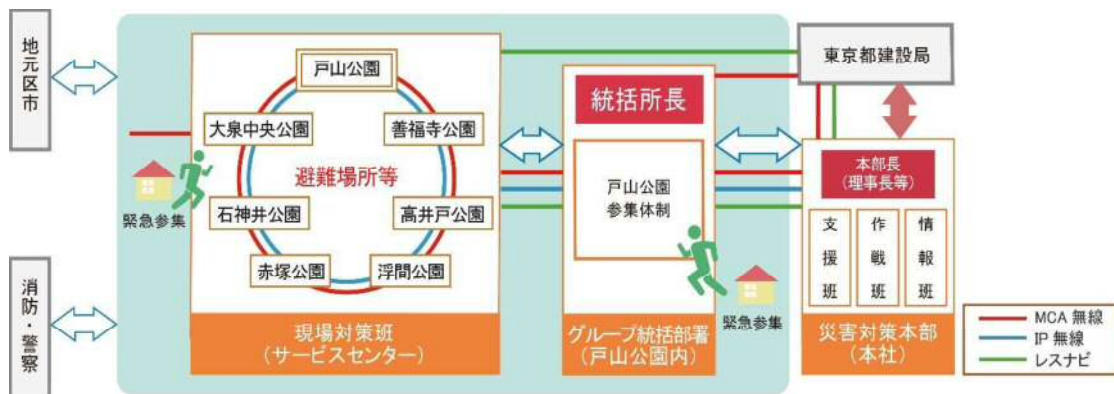
- (1) 夜間や早朝等の施設被害をはじめ事件・事故等が発生した場合は、速やかに東京都へ報告するとともに警察・消防等との強固な連携のもと、SC長及び統括所長が主体的にスピード感をもって対応します。本社・公園事業部等は緊急連絡網により、いつでもどこでも対応できる体制を強化します。
- (2) 夜間等の迷惑行為が危惧される場合は、夜間警備を配置するなど未然の犯罪等防止体制を整えます。
- (3) 緊急施工等が必要な場合は、各現場に近い協力専門会社に依頼し、安全確保を図ります。

### ■ 自然災害・その他災害発生時の対応

- (1) 全体調整等が必要な台風・大雨等の気象災害等の対応にあたって、本社・技術管理課が東京都窓口として各現場(SC)を統括し、気象災害対策計画書に基づき、警戒態勢を組み対応に当たります。
- (2) 気象情報会社((株)ウェザーニューズ)との契約のもと、精度の高い気象情報を常時収集するとともに警報など異常気象情報等を迅速に把握・メールで関係者に自動送信する「気象警報等予測配信システム」の稼働により、「公園別ハザードマップ」に基づく未然の災害防止対策を徹底します。
- (3) 災害が発生した場合は、グループ統括部署からの指示により緊急に応急補修や修繕に対応する、独自の専門特約店によるスピーディな対応を行い、安全確保に努めます。
- (4) デング熱等の社会的影響を及ぼす事案や緊急重大事故については、本社に災害対策本部を設置し、組織を挙げて対応に当たります。また、事案によっては、東京都の指示を仰ぎながら慎重に対応いたします。

### ■ 震災時等の対応

- (1) 震災発生時には、「震災対応マニュアル」に基づき、直ちに本社等に災害対策本部を立ち上げ、理事長の指示のもと、防災担当部長の指揮により的確に対処する災害対応の体制を整えています。
- (2) 夜間等勤務時間外には「震災時職員参集計画」により各公園に1時間以内に複数職員が参集し、「現場対策班」を立ち上げ、被害状況把握、安全確保、避難者等支援・誘導、本部への報告等を行います。
- (3) 災害時の通信手段を確保するため、無線を設置し、本社・各公園間の連絡体制を構築します。
- (4) これらの体制の円滑な機能発揮をするため、平常時から様々な訓練により、職員の防災対応力を向上させる取組を推進しています。



職員の防災対応力向上のための訓練	
● 勤務時間内防災訓練 (年1回)	● 公園協会本社と全公園間の防災無線訓練 (毎週)
● 夜間等参集訓練 (年2回)	● 多様な主体と協働した地域連携防災訓練 (公園協会全体で年100回以上)

<震災時の指揮命令系統図>

(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

1. ニーズ等に的確に対応できる人材配置・育成の考え方

公園を取り巻く社会環境が大きく変化し、都民ニーズも多様化・高度化する中で、これらの変化に柔軟かつ機動的に対応できるよう、公園の管理運営に関する総合的な知識、理解及び実行力を有する人材の確保・育成は大変重要と考えています。

高井戸公園の管理運営に際しては、都市部の公園・北部グループにおける考え方と同様に、以下に示すような、公園管理のプロとして様々なニーズに的確に対応できる人材の確保、配置と育成に努めてまいります。

- ①「公の施設」管理者としての基本的な心構えや取組姿勢を堅持し、様々な課題等に的確に対応、行動できる人材
- ②関係法令や行政の基本指針等を熟知するとともに、公園管理運営に係る豊富な知識、技術、ノウハウを持つ人材
- ③利用者やボランティア、地域住民等とのつながりを大切し、適切な対応ができるホスピタリティの高い人材

2. 配置する人材の役割等

各部署に配置する職員等の役割は以下のとおりです。

	役職等	人材区分 *下表参照	主な役割
SC	SC長	C	各公園の統括責任者。利用者、住民、地元区他関係機関との総合調整
	管理運営職員	A	利用者窓口対応、施設受付、利用指導・適正化、利用促進、イベント指導ほか各種調整等
	維持管理職員	B	植栽管理、生物多様性保全・普及、公園施設管理等
統括部署	グループ統括所長	C	グループ公園の統括責任者。業務総合調整、東京都等との連絡調整窓口
	管理運営係長	A	グループ公園の運営管理責任者。事業計画進行管理、予算管理
	管理運営職員	A	管理運営係長補佐
	維持係長	B	グループ公園の維持管理の責任者。維持管理の設計・監督
	維持管理職員	B	維持係長の補佐。維持管理の設計・監督
本社スタッフ	防災推進チーム	D	防災対応に係る総合指揮・統括、防災に係る自治体等関係機関との総合調整
	研究開発チーム	D	管理運営及び維持管理に係る新技術の開発・運用、SC等への高度な技術的指導
	企業連携チーム	D	企業と連携したイベントや事業等の調整、事業推進、企業協賛などの総合窓口
	広報宣伝チーム	D	ニュースリリースや、ホームページ等による情報発信、広報宣伝等の総合調整
	都民協働チーム	D	ボランティアの受入や活動支援等の調整、企業CSRの活動調整・推進等
	樹木健全チーム	D	樹木医による点検等の調整 貴重な樹木等に対する管理・育成等技術指導
	安全防犯チーム	D	都や警察等と連携したホームレス対策等利用適正化の取組、事件・事故、防犯対応
	企画デザインチーム	D	公園利用に係る各種調査・分析、広報資料等の企画・デザイン、事業企画等
スポーツコーディネーターチーム	D	スポーツレクリエーション事業の企画コーディネート	

3. 人材配置の方針（部署ごとに求められる職員配置と必要能力）

下表のとおり、各部署において必要とされる知識、能力、ノウハウ等を持つ人材を配置します。特に都市部の公園・北部グループでは、ホームレス対策、自然・歴史資源の普及等に対応できる職員を各部署の役割に応じ継続して配置します。高井戸公園開園後、当面の間は近隣公園や特約店による強固な支援体制のもと、適切な維持管理を実施します。

部署	SC・グループ統括部署		SC長・グループ統括所長	本社スタッフ
人材区分	<b>A (管理運営)</b>	<b>B (維持管理)</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
配置する人材	○受付・サービス、利用者指導・調整・適正化を行う人材	○公園施設・樹木等維持管理、生物多様性保全・普及等を推進する人材	○公園管理運営を総合コーディネート・調整、パークマネジメントを推進する人材	○専門知識・ノウハウにより各サービスセンター・統括部署を支援・指導する人材
職務上必要な知識・能力	○事務処理能力 ○接客対応力 ○利用者・ボランティア等の調整能力 ○広報案内・情報発信力	○造園技術に係る能力、樹木点検等ノウハウ ○動植物に関する知識、生物多様性保全・普及能力 ○遊具ほか公園施設等の安全点検・補修等能力	○パークマネジメントに係る総合的な知識と実行力 ○都市公園法・公園条例など法令等の理解と的確な判断力 ○施設管理・安全衛生に関する総合的な知識・能力	○防災、安全・防犯、研究開発、都民協働、樹木健全、企業連携、企画デザインなど、専門的な高度な知識・ノウハウ等 ○建築・土木・造園・電気など専門技術とノウハウ
共通して求められる基礎的能力	①都市公園法や都立公園条例、基準・規則等に係る基礎知識、その他公園管理運営に関する知識 ②「公の施設」の管理者としての公平公正なサービス提供に係る認識と対応力 ③接客等に係るCS能力や、公園やまちの案内ができる語学・会話能力 ④情報セキュリティ、コンプライアンス等に関する知識と対応力 ⑤応急手当やAED操作等をはじめとする基本的な危機管理能力 ⑥その他、基礎的な防災対応力、公園施設・樹木等の安全点検能力、都民協働や利用者調整等の能力			

#### 4. 人材確保の方針

高井戸公園においては、前述の人材配置の考え方等に沿って、次の方針に基づく人材確保を進めてまいります。

- ①中長期的な視点を見据えた計画的な採用の実施
  - ・前述のような公園管理に必要なスキルを有する人材を育成し、適材適所で配置するとともに、即戦力のスキルを持ったプロフェッショナルも採用していきます。
- ②公平公正を確保する幅広い採用窓口の活用
  - ・造園系大学等、専門の大学や高等学校、職業訓練校とのインターンシップや研修生の受け入れを通じた教育機関等のつながりを活用していきます。
  - ・民間や公共のあつせん機関を活用し、各分野の経験者等、幅広い人材を確保していきます。
  - ・ホームページやメディア等の活用により採用機会の公平・公正性を確保します。
- ③事業の継続性・安定性を重視した採用
  - ・職員をできる限り継続的に雇用し、事業の継続性、安定性を高めてまいります。

#### 5. 職員の能力向上に向けた取組

前述した部署ごとの役割等に応じて、下記のように人材ごとに能力向上に向けた取組を進めていきます。なお、これらの取組によって、これまでに各種資格を取得した職員数及びその推移は下図のとおりです。

##### A 受付窓口対応、利用者サービスやボランティア指導調整等を行う人材育成の取組

- ①都民協働研修 ②CS トレーナー研修 ③おもてなし研修 ④OJT での指導力を向上させる研修
- ⑤公金管理等の公園職員養成のための研修

##### B 公園施設等維持管理を適切に行い、生物多様性保全を進める人材育成の取組

- ①公園の維持管理技術のスキルアップを図るための設計・積算、施工管理に関する研修により、自己啓発を含め、造園施工管理技士、造園技能士など資格取得を推進
- ②自然観察指導員養成講座等の受講により、動植物及び生物多様性保全・普及等の知識・能力を向上させ、資格取得等を進めます。
- ③樹木点検員養成研修、樹木医講習会等のほか自己啓発を含め樹木医取得を進めます。
- ④高所作業車運転技術講習会、チェーンソー等特別講習会、OJT による剪定作業訓練により能力の向上を図ります。

##### C 総合的にパークマネジメントを実践する人材育成の取組

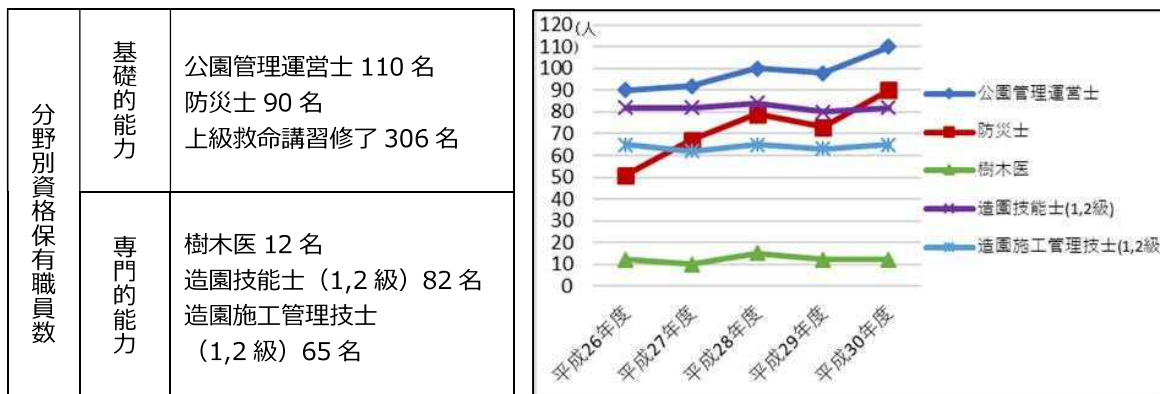
- ①パークマネジメント研修 ②公園管理上の各種課題解決能力を向上させる実践的研修
- ③安全衛生推進者養成研修 ④SDGs 研修

##### D 現場を支援・指導する人材育成の取組

- ①最新の動向を捉えた専門知識のステップアップ研修の実施

※その他、公園管理者としての基礎的能力向上の取組

- ①待遇等に係る C S 研修 ②個人情報等コンプライアンス研修
- ③応急手当や A E D 研修 ④防災対応能力の向上研修
- ⑤公園管理運営に関する専門研修 (ほか)



公園協会における各種資格保有職員数と推移